

令和5年

新城市教育委員会

11月定例会会議録

新城市教育委員会

令和5年11月新城市教育委員会定例会会議録

1 日 時 11月22日(水) 午後2時30分から午後4時6分まで

2 場 所 新城市役所本庁舎4階 会議室4-2、4-3

3 出席委員

安形 博教育長 青山芳子教育長職務代理者 夏目みゆき委員 原田真弓委員 夏目安勝委員
鈴木志保委員 伊藤雅朗委員

4 説明のため出席した職員

鈴木教育部長
原田教育総務課長
菅野学校給食課長
中嶋学校教育課長
村田生涯共育課長
山口生涯共育課参事
中村生涯共育課参事
湯浅生涯共育課参事
請井生涯共育課参事
前崎学校教育課副課長

5 書 記

住田教育総務課副課長兼庶務係長

6 議事日程

開 会

日程第1

(1) 令和5年9月、10月開催会議録について

日程第2

(1) 協議事項

ア 新城市教育振興基本計画について

日程第3

(1) 教育長報告について

日程第4

(1) 報告事項

- ア 行事・出来事（11月、12月）について
- イ 11月臨時議会について（教育部長）
- ウ 学校施設長寿命化計画（個別施設計画）の策定に向けて（教育総務課）
- エ 寄附金受納について（教育総務課）
- オ あすなろ教室移転進捗状況について（学校教育課）
- カ 令和6年新城市成人式について（生涯共育課）

日程第5

(1) その他

閉 会

※次回定例会議（予定）令和5年12月22日（金）

○職務代理者

ただいまから、令和5年11月定例教育委員会会議を始めさせていただきます。

日程第1 会議録の署名

○職務代理者

最初に、日程第1、令和5年9月、10月開催の会議録について、承認いただける方は署名をお願いいたします。

ありがとうございました。

日程第2 協議事項

○職務代理者

次、日程第2、協議事項に移ります。

新城市教育振興基本計画について、中嶋学校教育課長より説明をお願いいたします。

○学校教育課

お願いします。

それでは、初めに教育振興基本計画そのものについて、全体についてご意見をお伺した後に、各課が担当している学校教育課関係、それから生涯共育課関係、教育総務課関係のところということで、順番にご意見をお聞きしたいと思います。

まず、全体について何かご意見があればお聞かせください。お願いします。

○委員

それではお願いします。

一番初めの目次についてです。このところに（仮）と書いてあって、4番の学校教育にかかわること、5（仮）生涯共育課にかかわることというように仮というように書いていますが、これは今後、副題みたいにして、きちんとした項目が立てられるということによろしいでしょうか。

○学校教育課

これに関しては、内容そのものを表すところで一応書かせていただきました。これに代わる何かいい見出しが見つければそれに替えようというところで一応（仮）ということを出させていただいております。

○委員

検討をしてくださるということで、このままではないということによろしいですか。

○学校教育課

はい。このままじゃないほうがいいですね。

○委員

そうですね、できましたらもう一遍この内容を読んでみて、例えば学校教育にかかわることでしたら一番大切にしているであろう一人一人を大切にする教育という見出しみたいなものをつけたりとか、次の生涯共育課にかかわることと云ったら、人生100年時代を整えるにあたってとか、迎えるに当たってとかと、そういうようなものが書かれると、より内容がはっきり分かっていいのかなと思いましたが、目次についてお伺しました。

○学校教育課

ありがとうございます。

○委員

今、委員が言われたのに関連して、目次を見てください。

1番の本計画策定の趣旨は、この振興計画の基本理念が書かれているところだと思います。目指す子どもというところで、「著しく変化する社会や時代においてたくましく生きる子ども、それを目指したい。」そのためには、基本方針つまり、取組の視点として(1)、(2)があり、さらに、それを具体的に重点目標、施策として、(4)(5)(6)があると思って読ませていただきました。

先ほど委員が言われたように、4番、5番、6番のこの(仮)というのが、教育長が書かれた文章と何となく違和感があるので、例えば、4番で言う「主体性のある学びの充実」、5番であったら「豊かな人生を送る生涯学習」、6番なら「魅力あふれる教育環境」。そのような流れで1区切りで書いたらどうかなと思いました。

○学校教育課

ありがとうございます。

○委員

もう1点よろしいでしょうか。

それでは7ページから始まるそれぞれのNow、Goal、Stepsというところのそれぞれの項目に分けたこの分け方ですけど、一番初めは現在の現状が書かれていて、次がGoalで、次のStepが今後に向けてということで3段階に分かれていると思います。このGoalの捉え方ですけど、Goalというのは日本語に訳しますと、目標と目的みたいなものがあるかと思いますが、目標と目的は日本語的に言うと違うものですので、どのようなものを目指したことが書かれているのかというところは統一してあるのかどうかとか、それぞれの項目によって書き方が違うのではないかと思いますので、まずGoalというものはどのような、日本語的には目指したものをここにGoalといわれて書かれているというところを教えてください。

○学校教育課

これを提案したときに、現在地を確認し、それから目標とか目的という言葉ではなくて、目指すべき場所というところでGoalという説明をさせていただいたので、厳密に言うと目標とか目的とか、微妙に違ったニュアンスのものが一緒にこの中に入ってしまったのかもしれないです。

○委員

両方あるというように捉えておけばよろしいですか。

○学校教育課

はい。

○委員

分かりました。ありがとうございました。

○学校教育課

これもやはり内容を統一していったほうが良いということですかね。

○委員

そうですね、書きぶりといいましょうか、ここにかかっている内容的にこれだけのことかなという

のと、ここも、ここも入っているようなところもあるなというように感じ取れたので、両方入っているということを今伺えば、それぞれの担当の方によって書き方が変わってきたのかなと思いましたので。

○学校教育課

提案の時点であいまいなお願いをしたので、いろいろなものが入ってきてしまったのかもかもしれません。

○委員

実際にGoalとって、目指すべき形というものをきちんと書いておいたほうがいいかなと、今伺うと、その辺をフォームで統一して書かれるというのが読みやすいかな、分かりやすいかなと思いました。よろしくお願いします。

○学校教育課

はい、ありがとうございます。

○教育長

今のご指摘、例えば、各課が互いのものを読み合うと、こういう書き方があるんだという、そこに自分の書いたものを修正する力が生まれてくると思いますので、大事にしていただけたらありがたいと思います。

○委員

前回の総合教育会議のときに、こんなドラフトですということを出されて、そのときに目標地点とこういった表が配られたじゃないですか。これを持ったときに分かりやすいと思ったのです。今回、文章じゃないですか。これは欲を言うと、子どものお便りみたいに1枚にならないのかなというように思いました、例えば本当にこれだと思うのです。ここから向こうに向かっている矢印が全部上に上がってくる。最終的な大きな目標がここにあって、ある程度このフロアの下には自主性みたいなものがうたわれてというものだと思うのですけれども、この文章でしっかり読ませていただくと、こんなブループリントで進められていくんだというのが分かるんですけど、なかなかここまで読む機会がないと思うと、1枚でポンと分かるような、本当に項目が並んだだけでもいいかと思うのですけれども、あると例えば現時点でどの辺にいるんだとか、そういうことを先ほど皆さんで出た話ですけれども、今の時点はこの辺にいるからチェックしよう、もう一回計画を再度しよう、そうすると、もう一回アクションを見直そうといういわゆるプラン、ドゥ、チェック、アクションができるじゃないですか。ということは、これで、1枚にまとまったものがあると分かりやすいんじゃないかなと思いました。

○学校教育課

よく研究会などに行くと、研究構想を図式化したものが1枚入っていることがあるんですが、あのような形でこの考え方が図式化して1枚入ると分かりやすいということですね。ありがとうございます。

○委員

今の委員の発言にもかかわっていますが、この教育振興基本計画はなぜ作成するのか、誰のために作成するのかということが自分にははっきりしません。「新城市教育委員会がこういう施策をした。それをやってみて1年、どこまでできたのかチェックしながら進めるための基本計画である。」というよう

に考えるのか、「各学校がどれだけできたのか、各学校でできたことをチェックするのか。」によってこの書きぶりが大分違うのではないかと思います。個人的には「市教育委員会がこういう施策を打って、ここまでやったんだけど十分でないので次年度こういう工夫をしてやりましょう。」とかいうものが教育振興基本計画だと思ったりするのです。であったら、書きぶりの、Now、Goal、Steps、それぞれGoalはどのような意味のGoalかということもありますが、当然令和6年度から10年度にかけて作成されるということは、Goalが見えていないと書けません。ある程度令和10年度はどのような時代であり、どのような新城の教育になっているのか、そういう姿が分かっていないと書けません。そのための資料を収集して、実態を見極めてGoalをつかむ。そこにGoalの目指す目標があると思います。その目標に向けて新城市教育委員会の施策はどうなんだというところを明記することが大事なのかなと自分は思いました。

○委員

委員さんのご意見と重複するようにも思いますけれども、令和6年にこれを出して、令和10年がGoalということで、恐らくこの各Now、Goal、StepsのGoalは、令和10年にこうしたいという思いでお書きになっていらっしゃるわけですね。そんなふうに読ませていただいて、ものすごい大作をつくっていただいて、敬意を表すわけですが、教育ですからそう簡単に変えるわけにいかないですけれども、ここが大きく変わりますみたいなどころもあってもいいのかなと、そんなことを感じました。

○学校教育課

ちょっとしゃべらせてもらってもいいですか。

Goalというもののイメージですが、5年後、目まぐるしく時代が変わっていくので、適格にこうなっているだろうというような予測を立てるとするのは非常に難しい状況かなと思うのですが、ただ、日々の諸問題に追われていると、それぞれがバラバラな動きになっていってしまうと思うと、遠くのほうに目標を見つけて、そこに向かってここが目標だよと言えば、そっちに向かって足が踏み出せる。そこを教育委員会として、理念にのっとったところへ、みんながそちらに向かって足を踏み出せたらいいなという感じの目標地点というところでGoalなのです。なので、具体性にまだまだ欠けているというような部分もあるかもしれないですし、それが同じところじゃないかと言われるればそれもあるのかもしれないので、もう少しすり合わせというのか、再確認はしたいと思います。

○委員

今の先生のお話から、子どものあるべき姿を目標という明確なものがあるじゃないですか。なので、今現在、見られるであろう5年先のあるべき姿というものを捉えられての計画であるということを皆さんが押さえていければいいのかなとすごく思いました。ありがとうございます。

○学校教育課

ありがとうございます。

それでは内容に入っていってもいいですか。

それではまず、学校教育にかかわることというところをお願いいたします。

○委員

ごめんなさい、全体的なことにかかわるかもしれないですけど、この会議が始まって、頭の中の整理がつかないというか、確かに委員が言われたように、これは誰のためのものなのかというのがいま

いち曖昧になってしまって、質問の仕方、向けるべき矢印が分からなくなってしまったのですが、ごめんなさい、これは誰のためのものなのでしょうか。

○学校教育課

究極的には子どものためですし、新城市で育つ子どものためのものです。そのために教育委員会がどう動くべきかというところです。

○委員

となると、学校のほうにこれを教育委員会がつくったアイデアとして、学校に下すというイメージですか。

○学校教育課

もちろん、学校の全教職員にはお渡しします。

○委員

物理的にこの用紙を下すということではなくて、アイデアを共有して進んでいくというイメージなのか、それとも言い方はあれですけどついて来いよというイメージのものなのか、そうすると例えば私、教育委員ですけど、教育委員の立場というのも最近、特に保護者というポジションがあるので思うんですけど、あまり学校運営に確かに協議する教育委員としてはあるのですが、上下ってあるのかなと思うこともあって、教育委員と学校の間、これも同じで例えば、教育委員がつくったものに関して、学校に下すというイメージがなかなか最近できなくて、共有というのも分かりますし、むしろ下から学校の先生からアイデアを上げて、ここでまとめる部署というイメージで教育委員という感じもあるのかなと、教育委員とは何だということになってくるかと思うのですが、そこがいまいちゃいけないので、幾つか私も項目を上げてきたのですが、ちょっと質問の作り方が変わってきてしまって、ごめんなさい、私だけが曖昧で思っている、皆さんははっきりされているなら申し訳なかったのですが。

そもそも、この基本計画ということですけど、私はもう最初に開いたときに、学校を応援する冊子なのかなと思ひまして、学校の自主性をある程度認めながらも、隣の学校のやっていることをいいことはお互い共有し合って刺激し合う。この冊子でもって、こんな頑張り方もあるんじゃないかとか、いわゆる学校を応援するという計画なのかなということも思いますし、ある意味課長の言われたみたいに、足並みがそろわないと、大きな組織って大体10年後のマップでつくっていくときに、当然今共有しているものをシェアして、そこからいろいろなものを立てていくじゃないですか。それと同じように、確かに同じものをシェアして、その中にもいろいろ違いがあるので、どこまでその違いを認めるかというのを合わせていって1つの組織がつくれる。それと同じで、計画というものが今、それこそ計画の計画がどこにあるのかというのが、自分の中でごめんなさいはっきりしなくなってしまって、この、じゃあ教育に関して質問ありますかと言われて、このように言えばいいのかなと曖昧になってしまったので、皆さん何か質問の仕方とか、考え方とか整理の方法があったらぜひ最初に共有していただきたいのですが。

○教育長

7ページから13ページ、学校教育にかかわる仮タイトル、この部分については、今委員が言われた共有に近い、これを出すことによって一人一人を大切に教育というのは、こういうイメージで教育をしていきたいと、教育委員会、教育長も含めて学校教育課の職員もそうですし、例えばみがか

で参観されたときにそういう視点で見ていただく。それが学校の現場にいらっしゃる教職員も全て同じ視点、こういうことをやはり大事にしていきたい。一人一人を大切にするというのは、授業中に1人寝ていたらそれはその子が活躍できていない授業であり、そういう視点で教育を語れる、それが学校教育に携わることができる全ての方、そういう視点でものが見られる。

授業って分かればいいんでしょとか、みんながいればいいんでしょとか、そういう感覚で捉えている方もいらっしゃると思う、一人一人を大切にするというのはどういうことかというのをきちんとかかわる方が全員が吟味できるというような、吟味するための一つの指標であって、共有化の大本になるものがこの計画である。それは、昭和、平成と教育委員会が学校より上の立場にある時代から、こういうふうに時代が変わってきています。学校の主体性が大切になってきています。基本的には学校で決めていけばいいけれども、でも本当に公教育って学校A、B、C全部違っていいのかということそうではないです。大切にすべきものがあるから、それを示すのがこの計画です。そうするとできるだけ項目の数は少なくしたほうが良いというのが私自身の考えです。

それが、例えば27ページ以降、学校の施設設備のことになると、これは教育委員会主導でないといけないと思います。教育行政が主に携わっていますから、現場の状況を見て、そして長期的な計画、展望に立って示していく。それを学校の教職員も読んで、教育委員会の動きを理解できる、理解しやすくなる。子どもが読むわけではないです。でも、最終的には子どもが学ぶ環境を育てていく、そういうことになると思います。

生涯共育のところは、教育に関心がある大人が読んで、こういうことを生涯教育、生涯学習で教育委員会は示しているのかということが理解できればいいけれども、基本的には大人ですので、一人一人の価値観になりますので、全てを統制するとかそういうことではないと思います。ただ、生涯学習の場としてこういうところを大事にしていきたいというのは、教育委員会の務め、責務だと思っていますので、それは明確に示していくつもりです。分野ごとに若干変わってくると感じています。

○委員

今、教育長が言ったように、自分も学校教育課が書いているところと、生涯共育課が書いているところと、教育総務課が書いているところの文体、流れが違うというように読ませていただきました。

生涯共育課、教育総務課は、ある程度施策があって、それに対してどうなのか、こうやってやりますよ、こういう方針ですという、そういう書き方です。学校教育課は、こういう子どもを育てるためにこういうことに注意してやっていきたいですよ、目標にしていますよという書き方です。書き方が違うと思う。学校教育課でいうと、「こういう子どもに育てたいので、指導の個別化、学習の個別化による、個別最適化的な学びを充実するための小学校専科制度や、中学校35人学級を推進する。」とか、施策に結びつけて書けるんじゃないかなと思いました。さらに、「一人一人の学び合いができる学校をつなぐICTの積極的な活用。」とか、施策を中心とした書き方のほうが分かりやすいと思いました。

○学校教育課

ありがとうございます。

○委員

それではよろしいでしょうか。

違う視点ですけど、よろしいでしょうか。

○学校教育課

お願いします。

○委員

この一番初めの、子ども一人一人を大切にする教育の中ですけれど、その中の2番目の子ども主体の教育というところに三宝の学びというものを取り入れてということで、今現在のことから、目標、それから次に対することが書かれていると思いますけど、実際にここを読ませていただくと、いろいろな学校でやっている取組がそのまま行われているということがよく分かるような書きぶりになっていますので、実際にやっているんだろうなと思いました。ですので、この中でより今やっている、現状でやっていることでさらにステップアップしていくようなところを具体的にこの中の主体的な教育ということで載せていったらどうだろうかと思ひまして、例えば、作手大好きとってこの間すぐく作手小学校を見させていただいたときに、もう郷土愛あふれる授業、考え方とか、取組というものがされていたんです。何々大好きというように、そこの学校のことをより知るということ、それが全ての授業に結びついていくというような取組が行われているので、そういう具体的な例を載せながら、実際にこの場所がこのように書かれては、主体的にはならないのかもしれないですけど、でも学校は違うのかもかもしれませんが、三宝を大事にするということであるということを見ると、その地域大好きというものが表題になって、それを取組む新城なんだということの基本計画に載せていってもいいのではないかと、大変具体的ですけど、それを基に全ての教科につながっていった学習ができる。それが新城の基本計画の中にあるんだというような考え方はいかなものかなと思って一度提案させていただきました。

それからもう1つです。

I C T教育は大変必要かと思ひますけれど、教育長のプランなどを読ませていただきますと、それよりI C T教育より読む、書く、話すとか、聞くとか、考えるとか、行動するとかという具体的な取組、I C T教育よりもさらに必要なものがあるのではないかとことを考えられるような、このプランから読み取らせていただいたので、そうするとこれよりも先にI C T教育を3として載せるよりも先に、その下に読む、書く、話す、聞くとかという具体的な、基本的な学習、学び方というものを取組む新城でありたいというようなところに力を入れたらどうだろうかと、こちらのほうがうんと大事なのではないかというように感じられるので、そのような項目を1つつくった上で、それこそが基本の基なので、当然そんなことはやっているんだということになれば、そんな考えはないかもしれませんが、ここで基本計画の中で、I C T教育はあるけれど、子どもの基本である読み、書く、話す、考えるとかという、そういうところが載っていないということになると、それは大切にされていないのだろうかとか、当然やっていることだからいいというように読み取るよりも先に、そこが足りないであろうというプランなどを読ませていただくと、必要なのではないだろうかと考えてしまいますので、ご検討いただけるといいかなと思ひました。この4番の項目から読み取ると、そんなふうに感じましたのでご検討いただけるとありがたいです。

最後によろしいでしょうか。

特別支援教育とか、外国人の児童生徒のところとか、本当に細かく丁寧に書かれていますし、必要なことがきちんと網羅されていましたので、今までにないこの新城での取組というものがしっかりと分かりますし、どれほど大切に思っているかということ、また、人数も増えているという実態がありますので、当然先生方の努力というものの上でこういう指針が必要だと思ひますけれど、本当に新城

でこれだけの取組をされているというのはありがたいと思いますし、ここに載せて項目を立ててくださっていることに感謝いたします。ありがとうございました。

以上です。

○委員

委員と重なるところがありますけれども、読むとか考える、そういったところの言葉がやはり入っていていいと思います。基本的に子ども主体の教育という基本的な考えの中で進めていただいております。各学校のみがくの授業を見させていただきましても、子どもが発言するよということを目指して授業を行われているのがよく分かるのですけれども、子どもが疑問を持つ、好奇心を持つ、知りたいという気持ちを持つ、その前にまず大事なことを押さえておいて、そこから子どもたちが疑問を持つ、そういうような意味合いの言葉が入ってもいいのではないかと。

私は考え方が古いものですから、どうしても教育というのは教え育てることだと思ってしまいます。ICTの前にそういうことが入ればありがたいと思ったことです。

それからもう1つですけれども、②の子ども主体の教育ですけれども、この文言は基本方針の子ども主体の教育と重複しているわけです。基本方針の子ども主体の教育の中に、いろいろな内容が実は入っているんですけれども、ここでは特に新城の三宝ですか、それを通して子どもたちが主体的に地域とかかわったりして動いていくようなことを述べられるといいと思いましたので、委員からは別の意見がありましたけれども、私がふと思ったのは、もっと具体的に子どもの主体性を伸ばす教育のほうが分かりやすいかなと思いました。

以上です。

○学校教育課

ありがとうございます。

○委員

「子ども主体の教育」のところで、三宝の学びを視점에記述するのは、新城ならではの、教育として目玉になりますので非常に良いと思います。しかし、それだけに特化してしまうとそれで良いのかなと疑問にもなります。どんな学習だって問題解決の学習を基盤に子どもありきの単元構想で授業をすれば、子どもの主体的な教育ができていくんじゃないのかなとも思います。ですから、「三宝ありき」だけでどんどんやっていくと学校が苦しくなるのかなという感じがしました。

また、ICT教育で、「子どもが意欲的に学ぶツールとしてのタブレットを大いに活用する。」という文章がすごく僕は好きで、今まで大切にしてきた授業の手法の中に新しいツールのICTをどう組み立てて新しい授業、さらにスタイルを構築してか、これがやっぱり大事ではないかなと思います。さらに、デジタル教科書の普及、あるいは自動採点システムの導入、こころ辺をどのように捉えてここへ書いていくのか、書かないのかが判断に迷うところです。

最後に学校教育でもっとこういう視点で書くのも面白いなというように思ったのは、1つは教員の資質あるいは、指導力向上が重要課題なので、「新城版の研修システム」、学校、家庭、地域との連携つまり「共育」、それと「アクティブ事業」、「道徳教育」、「いじめ、不登校」、「幼・小・中一貫教育」、「中高一貫教育」について何を入れて、何を入れないのかという吟味もしていただけるとありがたいと思いました。

○委員

三宝の学びというのでいうと、確かに委員の言われるように、そこにばかり重きを置いて、じゃあふるさとのことばかり勉強していればいいのかといたら、確かに基本的なことを身につけないといけないと思うのでそうではないと。でも委員の言うように、確かに国語、社会横断的に地元のことを勉強するというのも手だと思うので、一つ真ん中の考えとして、あとほかの自治体とかにも存在はするんですけども、例えば鳳来町だったら鳳来科という教科にしちゃうとか、全く突拍子もないことを言っていますけど、教科として具体的に名前を、時間割を割いてしまって、そこで三宝を集中的にやる。後は算数はひたすら掛け算、例えば2年生で言ったら国語はひたすら「にゃーご」を読む。そうすれば横断的に例えばそこで、青い目の人形のことを国語の時間にやらなくてよくなってと、本当にもう少しそうすれば具体的に三宝の学びというのがハイライトされるんじゃないかなというイメージで、そうすれば外部の講師の方を呼んで具体的なことを勉強していくというのが科になるかもしれないですし、それで学校の授業というのを組み立てていいたらゆくゆくは、小さな学校だとか大きな学校が今あって、それこそ再配置だとか話題になっていますけど、なったときに一つくっつける、接着剤になるのではないかとあって、科として設けられるのもとても大変な試みだと思いますけど、面白いんじゃないかなというのを2人のご意見を聞いて、真ん中でふわふわ思いました。

○学校教育課

ありがとうございます。

○教育長

僕はICTを批判しているわけではないです。ただ、いろいろな授業を見て、ICT教育がきちんと機能している授業というのは条件がある。それは何か、何に近いかというと、触媒です。触媒ってある程度温度がないと働かない、化学反応が起きない、でもある程度一定の温度があると反応が起きる。ICTとかタブレットとかそういう部分が非常に強い、子どもの学ぶ心が育っていると多分、さらに活性化させて、新城ならではな学びが生まれてくると思っています。

藤井聡太さんが、AIを使って子どもの頃からやっていたら、今の自分より強くなったかと問われて、彼が何て言ったかという、プロになるまではAIは使うべきではなかったと、彼がプロになったのは14歳です。理由はと聞いたら、あまりにも刺激が強いということ、自分で悔しさを覚え、そういう感覚を子どもの頃に負けず嫌いの気持ちを養わないと伸びないと、そういうふうなことを彼は言っていると杉本昌隆8段、彼の師匠が言っていますけど、そういう部分が絶対あると思っています。

もう1つ三宝について、三宝については鳳来科大賛成です。そういう時間があるのです。総合的な学習の時間しかり、小学校で言うと生活の時間しかり、学活だって使える。横断的どころか、そういうふうな鳳来科をつくっちゃって、鳳来のことを学べば、全ての子どもが育っていく。新たに基礎・基本よりも、三宝を重視するんじゃなくて、今までどちらかというにあやふやにしてきた総合的な学習の時間、生活、学活をひっくるめてもう時間割の上ではそれぞれ分かれているけれども、思いっきり使って子どもにそういうチャンスを与えていくのが大事であると思いました。教室の机の上、こんなところじゃなくて、地域に出ればどれだけでも学べる、どれだけでも学びを支えてくれる人がいる、びっくりするほど。いろいろと見解を述べさせていただきました。

○委員

同感です。

○委員

ICTを教育長先生が批判しているとか、そういうふう感じたわけではないのですが、これ以前に必要なものとして、基本・基礎というものが大事ではないかと思ったので、項目を立てたらどうかと、私は常々思っているということを言わせていただきました。ですので、その辺のところは批判しているわけではない、否定しているわけではありませんので。

○教育長

もちろん。

○委員

それでは、文言のところよろしいでしょうか。

9ページのところの、Stepsのところの①に書かれている4段目、書くことにより費やした膨大な時間を大幅に短縮していく。確かにICTにより、この書くことという子どもたちが書いていることに対する時間も相当多かっただろうけれど、鉛筆を持って書かなくてもぱっぱと打った方が速いのもかもしれないけど、この膨大な時間を大幅に短縮してと、これはこういう書き方をされると書いていたことがまるで悪かったように聞こえてしまうので、この書き方はどうかなと思いましたので、ちょっとご検討いただけるとありがたいです。

それからもう1点、12ページです。学びの多様化に向けてというところですけど、5のところの3段目から4段目です。不登校対応において、新たな1人を生まないためにも重要ですよという書きぶりです。ここのところを普通に読んでいきますと、新たな1人を生まないためというのは、1人になってしまっただけは悪いのか、不登校の児童が1人出ることを悪のように捉えてしまわないだろうか、不登校対応において、新たな1人を生まないためということ、ここを読んだときに1人を生んでしまうことが、いけないから新たな1人を生まないような対応をしたほうがいいのではないかというように読み取られると、確かに不登校の子が増えることはいいことではないと思う、誰もが来てほしいと思うし、不登校にならないで一緒にやりたいとは思いますが、それは出ないほうがいいのかとは思いますが、増えたくて増えているわけでもないし、それぞれの事情があるし、それぞれその子どもたちがこういう文章をその親御さんが読んだ場合でも、自分のことはいけない子であるかのような感じ方を取られはしないかというように思いますので、この文言というのは括弧書きの新たな1人を生まない、気持ちは分かるし、言いたいことはよく分かるけど、新たな1人になってしまう自分は、不登校になった、これは悪いのだと思うような気持ちになるような括弧書きの書き方というのは、ご検討いただけるとありがたいかなと思いました。感情的なことかもしれませんが。

以上です。ありがとうございます。

○学校教育課

ありがとうございます。

○委員

今のご意見と私の思いですけれども、やはり不登校対応ということで、ここを読みますと魅力的な授業を展開することこそがと書いてありますけれども、私は不登校に至る理由というのは、むしろほかに理由があるのではないかと思いますので、それも含めましてこちらはやはり書き方を改めていただきたいと思います。

それとあと全体的な印象で、皆さんからいろいろ貴重な意見が出ておりますので、恐らくまた吟味していただいて、内容が充実してくると思いますが、非常に細かく丁寧に漏れるものがないように書

いてあります。すばらしいと思います。ただ、ちょっと分かりづらやかなというのも少しあります。それは何かなと思っていたときに、やはりもう少し時代に合った示し方というのがないのかなと思ひ浮かびました。どんなことかといいますと、例えば新城教育憲章があります。私は、この下に、私たち新城市民は、1から6項目あります。その下に1、2、3、4、5、6で、英文を載せたらどうかと思います。英語です。私の見解ですけど、例えばこういういろいろな文を読んでいて、あれちょっと英語に変換、英語に翻訳したときにどうなるかなと考えたときに、非常に訳しにくい言い回しというのが日本語にはあって、それが非常に奥ゆかしかったり、美しかったりとかそういう文章に重みを与えたりとか、そういう流れに行くかもしれないですけど、ちょっとそこを相手には分かりづらやかなというときもあるのかなと思ひました。それはどういう判断をすればいいかという、それを英語に訳してみる。そうすると多分、英語では訳せない、どうしてもこの文を英語にできないというのがあると思うのです。だからそういうものを省いていけば、ずいぶんもう少しシンプルな、すっきりしたものができるとは思ひます。

これは省いていただいてもいいですけど、例えばこれを全部読みますと、教育長のプランというのは非常に分かりやすい、多分、これ全部英語が見えてくるのです。専門がそうだからかもしれないですけども、何かそういった書き方にしていけば、一つの目安として相手に伝わりやすい、誰にでも分かるのではないかと思ひました。時代に沿った示し方で、それと教育憲章をぜひ下に英語でと思ひました。よろしくお願ひします。

○学校教育課

今いただいたご意見は、教育憲章は英語を下につけると、ほかの文章に関してはブラッシュアップしていくときに1回英語に直してみて、それで日本語を考え直すといいということで、英語の文章を同じようにつけるということでは。

○委員

そこまで要求すると大変なことになるのかもしれないので、もし願わくば、理想ですけど、このボリュームを3分の2ぐらいにしまして、少し空いたところにそれを本当に要約した英語を一文入れる。すごくインパクトがあると思うのです。何か日本語で読むと何か微妙な解釈の仕方があると思う。さっきの不登校のところもあると思うのですけど、そこに1つ救われるという言い方はおかしいかもしれないですけど、英語が1つあると、不登校の生徒を生まないと言っているけれど、みんなが学校に来れるよなというそういう一文があるとすごく充実するのではないかと思ひましたので報告をさせていただきます。

○学校教育課

ありがとうございます。

○委員

ちょっと突拍子もないようなことでも、よろしいですか。

○学校教育課

どうぞ。

○委員

例えば「子ども主体の教育」で、さっき委員からいろいろな三宝とふるさと学習を載せるのもいいじゃないかという話がありました。これまでの基本計画でQRコードが掲載されている基本計画を見

たことがありますか。

○学校教育課

いやあ、分からないですね。

○委員

QRコードにふるさと学習の実践を掲載したり、不登校対策のあすなろ教室を入れて、こういう施設なんだと説明するのも良いかもしれませんね。

○学校教育課

教科書はもう本当にQRコードがいっぱいついていて、動画が見られたり、関係資料がカラーとか、写真で見られるという教科書ばかりなので、QRコードというのは一つありかもしれません。

○委員

基本計画だから、QRコードがふさわしいかどうか分かりませんね。

○学校教育課

今のところ学校教育を中心でご意見いただいているのですが、次のところに行ってもよろしいですか。後で戻っていただいても結構です。

次、生涯共育にかかわることで何かご質問いただきたいと思います。お願いします。

○委員

15ページです。学びの機会の再構築というところの②学びの成果の可視化と活動の支援のところのこれが評価されるorこれも評価すると書かれていますが、これはどちらがよろしいのでしょうかと聞いているところなのでしょうか。

○学校教育課

そうです。

○委員

ですので、(ア)市民の学びの意欲の向上を図るため、生涯学習に取り組む市民の思いや学びの成果が見え、これが適切に評価される、これを適切に評価する、のこれというところをどちらにした方がいいですかというようにして、私たちがどちらがいいかというように考え、お答えすればよろしいですか。

○学校教育課

はい。

○委員

これが評価されるというか、それともこれをとか、これがというのは取ってしまってもいいじゃないかと思いました。

文言の話です。お願いします。

○職務代理者

ありがとうございました。

○委員

26ページの「新たな枠組みの中」でという、ここのところが他の項目と比べて表題的に違和感が少しあるんです。内容的に言えば、もし生涯共育課で書くとしたら「現在の学校の部活動が将来、様々な団体が共同して行う新城クラブへと移行することで、生涯スポーツを目的とした云々かんぬ

ん。」という生涯スポーツとしての内容を膨らませていかないと、ここは生涯共育課でせつかく書いていただくので、そういう書きぶりをもう少し工夫されたらどうかなと思いました。

○学校教育課

ありがとうございます。

○職務代理者

貴重な意見をたくさんいただいたようですが、教育振興基本計画につきまして、また後で何かありましたらいただくということで、次に進ませていただいでよろしいでしょうか。

○学校教育課

教育総務課の部分に関してはいいですか。

○職務代理者

そうでした。すみません。

○学校教育課

今、学校教育にかかわるところ、生涯共育課にかかわるところというように聞いてきたので、教育総務課の施設の面に関する部分でも。

○職務代理者

失礼しました。まだそちらでお願いいたします。

○委員

28ページの給食施設についての一番下の段です。地場産物の積極的な活用、この文言を使われているということは、表現としてこれを使われた理由は。いままで地産地消の推奨のようなことで使われてきましたが、この言葉にしたというのは。

○学校教育課

地場産物ですか。下から2行目、

○委員

はい、そうです。

何か意図があったのでしょうかというところで、特に何もなければ、言葉は分かりますし、言おうとしていることは分かりますので、これで構いませんけど、「地産地消の推奨を」と言う言葉でいままで給食施設についての項目が説明されていたかと思いますので。

○学校教育課

ありがとうございます。検討させていただきます。

○委員

28ページ、ほかの教育総務課の書き方とちょっと違うんですね。そのStepsの書き方が。

例えば、施策として「安心・安全な給食」、「地産地消」、「新しい調理器具の搬入」、「受入施設の充実」等といった施策を視点においた書きぶりでもいいのかなと思いました。

○委員

もう1点よろしいでしょうか。

今のところの上の段、Nowのところの最後の行です。提供できる体制を整備する必要性に直面していますと書かれていますけど、直面していますけれど実際に今、共同調理場を建設していますので、令和6年にこれを出されるわけですので、必要性に直面しているからどうしたということで、整備を

進めていますとか、共同調理場建設を行っていますとかという、行いましたになるかもしれないけど、そのときに合わせていくと、今、直面していますと書かれたときは、以前のことだったんだなと捉えますので、ここもご検討いただければと思います。

○学校教育課

はい、ありがとうございます。

○教育長

28ページ、Goalが子どもたちがワクワクする給食を目指して、これはとても分かりやすいな、タイトルって大きいなというのがある。給食何を目指しているか。子どもがワクワクする給食を新城は目指しているよと、一言で言える。同じのが20ページ、生涯共育課に戻っちゃう、また来なくなる図書館、これもすっと落ちる。どういうことかということ、タイトルってなるべく平易な言葉で、それも受け入れやすい言葉でというようなところで、もう一度吟味していただくとありがたいかなというところです。

○学校教育課

はい。

ありがとうございました。

また、何か気がついたところがあれば聞かせていただいて、頑張ります。

日程第3 教育長報告

○職務代理者

ありがとうございました。

それでは次に移りたいと思います。

日程第3、教育長報告についてお願いします。

○教育長

教育長報告と右上に書いた紙を1枚用意させていただきました。ご覧ください。

まず、授業を学ぶ会、これはみがくの集大成、19校で行われたみがく、教育委員の皆様にも多数ご出席いただきありがとうございました。実態を知っていただくということで、とても貴重な会だと思っております。

その中で、光る授業というので、私の心に残る授業が幾つかあったのですが、そういう中で私が決めるのも何なのであって、今回指導主事に聞きました。指導主事がイチ押しの授業、つまり経験の浅い方が見てもすごく勉強になる、そういう授業はということで、みがくが終わるたびに次の朝、教育長室に来てもらって報告を受けるのですけれども、鳳来寺小学校のある教諭の授業、これが素晴らしいということで報告がありましたので、紹介させていただきます。

私もこの授業を30分ぐらい教室の前から見させてもらいました。一言で言うと、プロフェッショナル、少し前の番組、今も特別版でやっていますが、仕事の流儀、多分今まで20年間ぐらいで4人教師が出たのですが、5人目に入ってもいいぐらいの授業力だと思います。子どもが活躍する授業です。ラグビーのことになりますが、ラグビーでは監督が現場にいませんので、スタンドにいて試合を動かすのは、ラグビーの選手ですよね、もちろんよく聞くと監督もマイクとかを持って、それが流れてベンチの選手に伝わるような、そういう場もあるそうですけれども、基本的には選手が動かす。

この教諭の授業というのは、子どもが動かしているのです。子どもが45分間、言いたいことを言って、それも自分の言いたいことではなくて、ほかのことも聞き入れてその場で言葉を生成してつなげて、新たな価値観を見出していくという、超理想的な授業だと思っております。もし、主体的対話的で深い学びが実現できているとしたら、新城で言ったら筆頭はこの教諭の授業だと思いました。

鳳来寺小学校専科教員、学校の中で専科をしているということで、ほかの学校にはない教え方を取っていますが、ある意味、これから日本は、この傾向が少なからず増えてくるだろうということを感じています。特に4年生以上、そんなところをもってこの鳳来寺小学校のスタイルに学ぶということも含めて1月26日、希望する教員が集まります。そして、授業の検討協議を行います。そんな状況ですので、報告させていただきました。

2つ目、愛知県市町村対抗駅伝競走大会が先日壮行会が行われました。関係者複数人と新城史上最速のチームということで、勝負事ですので当日になってみなければ分かりませんが、多分東海テレビで放映される1走、2走から始まって、数走までは、新城市1位でやってくる。監督によると、5位を目指しているということで、去年が21位でしたので、大幅な成績向上も期待されます。また、ご覧ください。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。

○委員

2ついいですか。

まず、市町村駅伝ですけど、これは担当はどこになるのですか。

○教育長

生涯共育課です。

○委員

壮行会があったと思うんですけど、どこの誰がどこの区間で走るというのがホームページとかに載ってなくて、応援をしたいのですけれども、どこの子が走るか、どこの方が走る、たしか大人から子どもまで走りますよね、あれって。

○教育長

そうです。

○委員

何区の代表が何とか小学校の何とかさん、何とか高校の何とかさんと、ほかの市町村は出しているので、早急にできれば新城も出していただきたいなと思います。

○教育長

特に問題がなければやっていただければ、

○委員

個人情報とかに問題がない範囲で結構なので。

○教育長

でももう、県のものには新城市バージョンが出ているので、問題ないと思います。

○委員

出していただきなと思います、よろしく申し上げます。

あと、関係ないことでもいいですか。

○教育長

どうぞ。

○委員

学校給食のことですけど、今全国的に少しずつ広がっているんですけども、この新年度から豊橋市が多分、東三河で一番最初に始めたと思うのですが、子どもたちの給食当番の白衣のことですけど、今、香りの害と書いて香害といって、特にアレルギーのお子さんがとても多くて、例えばよその家庭の柔軟剤がかぶれが出てしまったりだとか、前に使っていた子から渡されたものに室内で飼っている動物の毛がついていて、それでアレルギーが出てしまったりだとか、柔軟剤のにおいが駄目だというのが結構全国的な問題にもなっていて、新城もそろそろそれを考える、来年度調理場もオープンすることなので、新年度を目指してそういうのを新城も小中学校で各自、家庭でというのを考える時期ではないのかなというのを前から思っております。各自そういうのをやっている自治体も家庭で用意できないお子さんの分については、学校のほうにももちろん用意してあるのでそれを使ってくださいと。

例えば小学校5年生の家庭科の授業で、エプロンを製作すると思うので、5年生以上は中学生になってもそれを使うですとか、好きなものを家庭から持ってくるですとか、こども園を卒園するタイミングでお祝いの品を給食当番で使うエプロンにしてもらおうとか、そういったことも考えながらそろそろ学校で用意した白衣を、洗濯したものを次の子に渡すというシステムを変えていったほうがいいのではないかなと思ったので1つ提案です。

○職務代理者

ありがとうございました。

すばらしい提案だと思いますので、ご検討をお願いしたいと思います。

ほかにいかがでしょうか。

では、次に移ります。

日程第4 報告事項

○職務代理者

日程第4の報告事項ア、行事・出来事11月、12月について申し上げます。

○教育総務課

それでは、教育総務課から、行事・予定につきまして資料の1ページをご覧ください。

11月13日の月曜日、総合教育会議を開催しました。ご出席いただきました委員の皆様、ありがとうございました。

22日、本日ですが定例教育委員会会議を開催しております。

12月に入りまして、7日の木曜日市議会12月定例会が22日までを会期として開会されます。

22日の金曜日に定例教育委員会会議を開催予定です。

教育総務課からは以上です。

○学校給食課

学校給食課をお願いします。2ページをお願いいたします。

本体工事ですが、毎週水曜日に工事の工程会議を開催し進捗管理を行っているところです。

本体工事の進捗率ですが、下段の備考欄に記載しておりますように、10月末現在で進捗率が23.4%まで進んでいるところです。

続きまして、受け入れ室の状況です。下段の備考欄をご覧ください。

現在は、5校の工事に着手しております、それぞれの学校の進捗率は資料のとおりとなっております。一番進んでいるのが鳳来東小学校で、44.9%まで工事が進んでいるところです。

また、先日3校の工事業者が新たに決まり、千郷中学校が㈱筒井工務店、黄柳川小学校及び東陽小学校の工事が三河建設工業㈱となりましたので、またこちらの学校でも校長先生と工事業者と含めて工事の進捗の調整を図っていきたいと考えております。

続いて、運営面の準備状況ですが、表の11月の欄をご覧ください。

10月末から11月13日にかけて、現在の給食の物資を入れていただいております業者さんを個別に訪問いたしまして、これまでの流れと大きく変わる点などについて説明をしご理解をいただけたところです。今後は年度末までに登録申請の書類を出していただきまして、業者登録をしていただく予定となっております。

最後に12月の欄をご覧ください。

調理場の受託業者であります㈱ジーエスエフへ移籍する調理員の面談が年末に実施されることが決定しております。調理員の都合を勘案し、年末の面談実施となりました。調理員の調整についても順調に進んでいる状況となっております。

以上です。

○学校教育課

続いて、学校教育課お願いいたします。3ページをご覧ください。

11月11日、県の中学校駅伝大会が行われました。男子八名中、鳳来中、女子千郷中、鳳来中の4校が出場しました。その中で、千郷中学校が7位入賞、先ほどから話題に出ている対抗駅伝ですが、千郷中学校の1区、渡辺選手はエースが集まる1区区間で区間賞、1位で戻ってきました。ということもあって、今回非常に期待が高いということになっていると思います。

続いて、今週11月21日からですが、愛知県民ウィークというのが行われております。その中で、各学校が県民ホリデーというものを取っていいですよというようなことがありまして、新城市内小中学校全てが明後日、24日金曜日に県民ホリデーということで学校はお休みとなっております。

12月9日、小学校の駅伝大会が行われます。

12月22日が2学期の終業式であります。

以上です。

○生涯共育課（共育・文化係）

続きまして、生涯共育課共育・文化係の行事・出来事です。資料の4ページになります。

11月5日日曜日、第48回新城音楽祭、19日日曜日に第34回新城歌舞伎を開催しました。

24日金曜日ですが、愛知県社会教育委員協議会東三河支部及び東三河公民館連合会合同研修会が蒲郡市民会館で開催されます。

共育・文化係からは以上です。

○生涯共育課（図書館）

続きまして、図書館の11月、12月の行事・出来事について報告いたします。5ページをご覧ください。

11月ですが、2日に市内緊急地震速報の放送に合わせ、避難訓練を実施いたしました。避難行動の呼びかけ、誘導等の訓練を来館者のご協力いただき行いました。

次に、9日まで読書週間として、特別貸出しを行いました。

また、13日まで、市内小中学校児童生徒の生活習慣に関する習字作品の展示を行いました

12月ですが、13日に図書館まつり実行委員会を開催する予定であります。

また、13日から27日まで年末年始の特別貸出しを行います。

あと、インターンシップとして有教館高校3年生2名を受け入れておりましたが、12月をもって終了となります。

図書館からは以上です。

○生涯共育課参事（スポーツ係）

続きまして、スポーツ係の行事・出来事を説明させていただきます。6ページをご覧ください。

11月8日、B&G全国教育長会議がありましたので、教育長に出席していただきました。

11月11日、第7回しんしろこどもスポレククラブを鬼久保ふれあい広場で行いました。

12日は、愛知駅伝の現地下見会と選手団の壮行会を行いました。

16日ですが、市スポーツ推進委員第4回総務委員会を開催いたしました。

12月に入りまして、12月2日土曜日ですが、先ほど教育長からもお話がありました。第16回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が愛・地球博記念公園で開催されますので、新城市として参加します。当日は、12時30分スタートで、こちらの模様は東海テレビで生放送されます。ぜひご覧いただければと思います。

12月5日は、市スポーツ推進委員第5回定例会を行います。

16日は、第8回しんしろこどもスポレククラブを桜淵公園で開催いたします。

スポーツ係については以上です。

○生涯共育課（文化財・資料館・保存館）

続きまして、7ページをご覧ください。文化財・保存館・資料館からご報告申し上げます。

11月8日、新城小学校の校外学習がございました。15日、東郷西小学校へ出前授業に行っていました。八東穂にございます信玄病院のことについてお話をしてまいりました。

18日、19日と兵庫県の朝来市で山城サミットがございましたので、そちらで新城市のお城について紹介してまいりました。

20日、21日と、大分県の中津市へ出向きまして、こちらで新城市の長篠城と中津市がどのように交流ができるかということで打ち合わせをしてまいりました。

30日、庭野小学校の校外学習がございました。

12月に入りまして、16日、17日と横浜でお城EXPOがございますので、そちらへ行って、長篠城や古宮城など戦国時代の新城市内にある史跡についてPRをしてくる予定でございます。

以上です。

○生涯共育課（鳳来寺山自然科学博物館）

最後に、博物館関係の行事・出来事です。8ページをご覧ください。

1 1月につきましては、6日に東郷東小学校6年生28名が来館しました。

1 2日には、野外学習会「低山の秋を楽しむ」を作手の文珠山にて開催し、19名が参加しました。

1 4日には、JA愛知東の文化講座にて、奥三河の自然と博物館60年の歩みをテーマに、館長が講演を行いました。

1 9日から来年の3月31日まで特別展「博物館60周年の軌跡」開催しています。

本日、22日には、東陽小学校の6年生の現地学習として玖老勢、海老地区の地層見学とオパール採取を行っております。

明日、23日と26日は、友の会の行事として、秋のミュージアムフェスティバルを開催し、物販のほか、輪投げ、宝石探しなどのミニゲームを行います。

続いて、12月につきましては、10日に東三河ジオ資源活用推進連絡会の事業といたしまして、河原の石で石器づくりを桜淵近くの豊川河川敷で開催します。

13日には、黄柳野高校の自然学習グループグレートアースの現地学習に学芸員が講師として出席します。

16日には、学術委員全体会議を開催し、来年度の特別展や学習会の計画を検討します。

行事・出来事については以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして質問、意見等ありましたらお願いします。

○委員

1点お願いします。学校給食課にお願いいたします。

先日ですけど、作手小学校のみがくに参加しまして、おいしい給食をいただけてきました。作手小学校で作れた給食をそのままいただけたということで、また、作手産のミネアサヒの新米だったので、とてもおいしかったです。作手産のおいしいハウレンソウのどんぶりになったものだったんですけど、大変おいしかったです。そのときに校長先生がぼつりと言われたことが、共同調理場が開始されてしまうと、この作手産のミネアサヒが食べられなくなってしまうのではないかと心配していますと言われたのです。どういうことかなと思ってお伺したのですが、結局共同調理場で一括購入してその中の食材として、一緒に作手小学校の分も買うようになってしまうのでしょうか。それとも同じようにということで、作手小学校も同じ業者さんから直接買うようになるのでしょうか。そのようなところをちょっと心配されて見えたので、実際、作手小学校の方たちが地産地消で、そういうおいしい食材の下、安心して食べている、そういう給食が違う形になってしまうのはとても残念だなと思いますので、新城全体が作手産のミネアサヒを食べて、たくさん採れるトマトやハウレンソウも作手産のものを使ってというような計画を学校給食課で、地産地消を目指してというのもうたわれていると思いますので、進めていっていただけるとありがとうございました、一つ提案させていただきました。お願いいたします。

○学校給食課

給食の食材（物資）の選定に関しては、前々回、鳳来で開催しました教育委員会会議で説明させてもらったように、食材を購入する選定委員会というのを設けまして、そこでどこの食材を購入するか

ということを最終的に議論してまいりますので、作手の先生が言われたように、食材を変える、変えないというところはまだ未確定でございますので、学校給食費とのバランスを含め食材選定はしていくこととなると思っております。

以上です。

○委員

できるだけ地産地消で食べられるものが、できるだけ新城産のものをということで検討いただいて、選定していただけるとありがたいなと思います。

給食費が高くなったとしても、多分そのほうが親御さんにとっても安心かと思えますし、検討の余地はあるかなと思いますので、提案していただければと思います。お願いします。

○職務代理者

ほかにいかがでしょうか。

○委員

同じことでよろしいですか。

私も一緒にその話を伺いまして、給食センターになったからご飯がおいしくなったね、そんな印象を子どもたちが持ってくれるとありがたいと思いました。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございます。

では、次に移ります。

1 1月臨時議会について、教育部長よりお願いします。

○教育部長

資料は9ページになります。

1 1月17日を1日の会期として臨時議会が開かれました。教育委員会関係では、1件、補正予算をこの臨時議会に提出しました。内容としては、庭野小学校の創立150周年を記念して、庭野小出身の方から150万円の寄附をいただきましたので、その寄附金の歳入とその寄附金を充てて、庭野小学校の備品を購入していくという予算を議会に提出しまして、お認めをいただいたということでございます。

それから、議員もこれで2年経過しましたので、任期後半の市議会構成を決めるということも当日行われております。既に、新聞報道等されておりますので、構成についてはご承知かと思えますが、資料にありますように、議長には長田共永議員が再選され、副議長には佐宗龍俊議員、それから議会選出の監査委員に中西宏彰議員でございます。それから、これまで委員会が3つだったんですけども、総務・消防、建設・経済、それから厚生・文教、3つの委員会に分かれて議員さんがそれぞれ所属していたのですが、議会のほうで2つの委員会に構成し直すということで、総務・経済委員会、それから厚生・文教委員会、と2つにこの議会から分かれました。したがって、所属する委員さんが増えまして、委員会としては9人の議員さんが所属する構成となっております。委員長には、鈴木長良議員、副委員長にはカーランド・陽子議員、委員は資料のとおり所属されるという形で、12月議会から運営されていくということになっております。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、質問、意見等ありましたらお願いします。

ないようですので、次に移ります。

学校施設長寿命化計画、個別施設計画の策定に向けて、教育総務課お願いします。

○教育総務課

資料は10ページになります。長寿命化計画、個別施設計画の第1回の検討会議を10月17日に開催をしました。この計画は、令和3年度に策定しました長寿命化計画を具体化する計画であり、学校ごとにいつ、どのような修繕、どのような改修を行うのかということ予算の平準化も考慮し、スケジュールを策定していくものです。検討会には、校長先生方にもメンバーとして参加をいただき、学校に求められる機能や学校現場の実情を踏まえた計画を策定したいと考えています。

検討会は、今年度と来年度にかけて開催を予定しており、来年度中には策定することとしております。ただ、前回の総合教育会議でご協議いただきました小中学校の再配置について、市長も待ったなしとの認識を示されておりますので、その辺りも考慮した検討が必要になります。検討過程につきましては、適宜情報提供させていただきますので、よろしくをお願いします。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、質問、意見等ありましたらお願いします。

ないようですので、次に移ります。

寄附金受納について、教育総務課お願いします。

○教育総務課

資料は、42ページになります。

昨年度もご寄附をいただきました株式会社豊川工機様から八名小学校及び八名中学校の教育振興に役立ててほしいと、寄附の申出がありまして、10月27日、教育長室において受納をいたしました。金額は両校合わせて500万円です。今後、八名小学校、八名中学校と、今後使途について調整を図ってまいります。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

ご質問ありますでしょうか。

ないようですので、報告事項、最後から2番目、あすなる教室移転、推進、進捗状況について、学校教育課お願いします。

○学校教育課

よろしくをお願いします。43ページ、44ページの順でお願いいたします。

43ページ、44ページにつきましては、あすなる教室の移転について、各小中学校並びにあすなるの保護者に対して通知を行いました。45ページのところに今後の移転スケジュールについて、お示しさせていただきました。備品購入費ですが、適応指導教室の推進事業としまして163万9,0

00円が予算として議会を通りまして得られました。そのうち、移転に関する備品購入が約150万円ほどになるのですが、こちらが要求した額をほぼ認めていただくことができました。ただ1点、職員用と児童用の椅子に関しては既存のものを使えることができればということであったのですが、かなり古いものもあったので、どうしようかなということで今現在も万全な体制で整えられるように進めています。先日、ほかの課から市の備品で使わない椅子というところで募集があつて行って見たところ、新品同様にきれいな椅子が6脚手に入ることができ、これは職員用の椅子として使用することができるかあすなる教室にも確認しました。あすなる教室では、これを職員用として使いたいということで認められたのですが、児童生徒用の椅子については、今後何とか確保できるように推し進めているところです。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

何か質問等はありませんか。

では、私のほうから質問ですけれど、その他のところにおひさまステップの調理室のことが書いてありますが、調理実習等も可能とありますけれども、具体的にどのような使い方になるかという、予定はありますでしょうか。

○学校教育課

今で言うと、青年の家等でたこやきを作ったりだとかしているんですけども、そういったようにおひさまステップの調理室のところで、たこやき器を持ち込んでたこやきを作ったりだとか、調理を行う場所をお借りできたりするというので、今は青年の家で使っている調理器具をそのままおひさまステップで使っていていいですよという了承もいただきました。もちろん使用料はかかるんですけども、現在の使用料とほぼ同額で利用することができます。

○職務代理者

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

それでは、最後です。令和6年新城市成人式について、生涯共育課お願いします。

○生涯共育課

本日配付させていただきました令和6年新城市成人式実施要領をご覧ください。

令和6年1月7日日曜日、新城文化会館大ホールで令和6年新城市成人式を開催します。対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日に生まれた者で、市内に住民登録がある者として。

なお、就職、就学等で市外へ転出している場合でも事前に申し込みがあれば参加可能です。

11月2日現在の対象者は406名です。日程につきましては、午後0時30分から受付を行い、午後1時15分から記念行事として、スライド上映と新成人パフォーマンスを実施します。午後1時45分から式典を開催し、午後2時15分の終了を予定しています。本日、案内状を机の上に置かせていただきました。当日は、ご出席お願いいたします。

なお、当日の受付は午後1時となりますのでお願いいたします。

なお、配席等につきましては、詳細が決まり次第またお知らせいたします。

式典内容につきましては、市内6中学校の卒業生12人で構成する実行委員会で検討を行い、「f1

i g h t」～未来へ高く飛び立つ～をテーマに設定し、案内状デザインなどの工夫を行いました。記念行事及び式典の様子は、インターネットによるライブ配信及びケーブルテレビでライブ放送を行います。

従来との変更点につきましては、これまで新型コロナウイルス感染予防対策として、新成人本人以外の入場制限を行ってきましたが、今回は制限は行いません。参加者に配布する式次第について、これまで参加者氏名を掲載してきましたが、実行委員の意見も聞き個人情報保護の観点から掲載をやめることとしました。なお、対象者への案内状にメッセージ募集のQRコードを記載し当日の演出に生かしていく予定です。委員の皆様もよろしければ、成人へのメッセージをお願いいたします。

説明については以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

何かご質問等ありましたらお願いします。

ないようですので、次に移ります。

日程第5 その他

○職務代理者

日程第5のその他です。

ありましたらお願いいたします。

○委員

1つだけよろしいでしょうか。

先回のときに、運動会のことでこれからちょっと検討いただきたいという発言をしましたけど、今回の学芸会、学習発表会がこの11月にたくさんありまして、何校かの学校を見させていただきました。そこで言われたことですが、実際に今までの学習発表会とか学芸会という形態を取っている学校もありましたけれど、そうではなく新しい取組として各教室での発表だったり、それから自分たちのやってきた学習内容のことをそこで発表するということになったり、各学年ごとでやっている音楽の授業で取り組んだことをステージで、今度は体育館のところで大きなステージでやったりとか、いろいろな取り組み方がされていて、今までの学習発表会、学芸会という形態だけではありませんでした。

それからさらに、中学校とか高校のような文化祭的な取組をしている小学校もありましたので、そのようなものを見ている中で、校長先生の言葉にコロナのおかげでこのような見直しことができましたと言われた方もみえたので、コロナのおかげでというものが1つでもあってよかったです。子どもたちにとってもステージに乗ったその一点とか、その時間だけが主役ではなく、半日間も文化祭的なことをやったり、自分が発表する時間をもって目の前にいるお父さん、お母さん、それからご家族の方、兄弟の方もいらっしゃる方もいましたけど、そのような方とやり取りしながら、一体となって自分の発表ができたり、その答えをもらったり一緒にやるというそういう経験ができたという学習発表会、学芸会が見られたので、とても前向きな取組をされていてよかったなと思いましたので、報告させていただきます。先生方のご苦勞、本当にありがとうございました。

以上です。

○職務代理者

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

ないようですので、これで閉じさせていただきたいと思います。

次回、定例会議は12月22日金曜日を予定しております。年末のあわただしいときではございますけれども、またお集りいただきたいと思います。

それではこれもちまして、令和5年11月の定例教育委員会会議を終了とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

閉会 午後4時6分